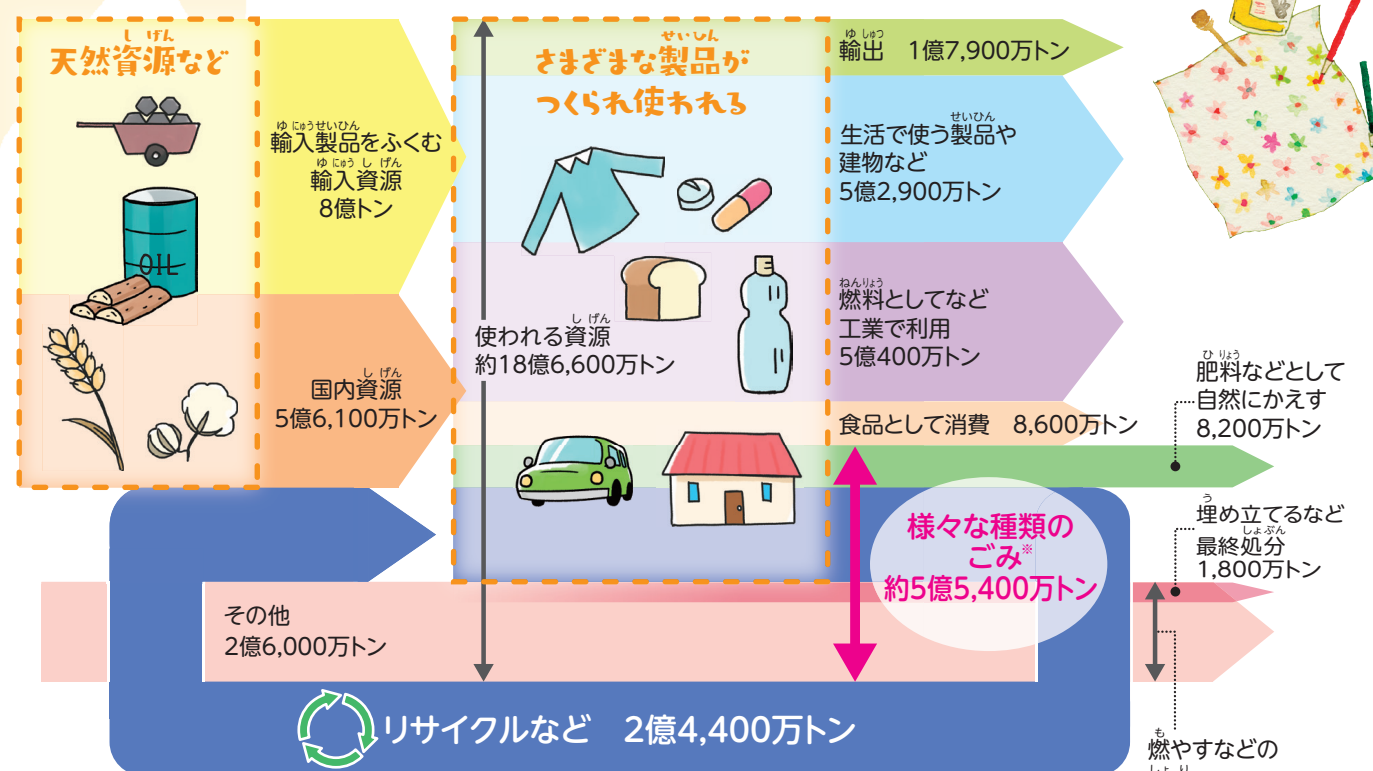


調 べよう ジャッキーと ごみに関する問題って何だろう？

世界の人口が増えていくとともに、地球上で出るごみの量は、これからも増え続けていくと予想され、環境問題となっています。それでは、わたしたちが暮らす日本では、ごみに関して、どんな問題が起きているのでしょうか。また、どのくらいの資源が使われて、どんな種類のごみが出ているのか、調べてみましょう。

日本で使われる資源が ごみになる量はどのくらい？

日本の資源の流れ（平成24年度）



※家庭などから出るごみや粗大ごみ、工場などから出る燃えがら、木くず、金属くずなど、そのままでは使えず、不要になったものすべて

資料：環境省「我が国における物質フロー」（平成24年度）より環境省作成

日本で、1年間に使われる資源の量は、約18億6,600万トンです。そのうち、約3分の1となる約5億5,400万トンは、様々な種類のごみとなります。処理しなければならない、これらのごみのうち、約半分は再び資源として再利用されたり、自然にかえされたりしていますが、残りは燃やすなどの処理がなされた後に、埋め立てるなどの方法で最終処分されています。

大人になったらごみが捨てられなくなる！？

わたしたちが出すごみの多くは燃やされたり、細かく砕かれて、最後には処分場に埋め立てられています。しかし、このままではみなさんが大人になるころには、処分場がいっぱいになってしまい、ごみを埋めるところが無くなってしまうとされています。

平成25年度末の時点では、このまま毎年同じ量のごみを出し続けると、あと19.3年で処分場がいっぱいになると予測されています。



10才のおたしたち



30才のおたしたち

日本で1年間に出るごみの量はどのくらい？

1年間のごみは4,523万トン！

日本で、お店やオフィス、家庭から1年間に出るごみの量は4,523万トンです。

1人1日当たりでは、964グラムのごみが出ています（平成24年度）。

食べ物のごみは1,446万トン！

お店での売れ残りや家庭での食べ残しなど、食べ物のごみだけでも1年間に1,446万トンが出ています（平成24年度）。

約3分の1は、
食べ物のごみ！

